

# 新世代ネットワークを支えるネットワーク仮想化基盤技術の研究開発

ネットワーク上に存在するネットワーク資源、計算資源、記憶資源等の様々な資源を統合管理し、提供するネットワークサービスに応じて、通信方式、速度、品質、及び機能を柔軟にカスタマイズ設定可能な、サービス指向な仮想化基盤を構成する技術を研究開発し、新世代ネットワークの基盤を構築する

課題ウ: 新世代ネットワークアプリケーションの研究開発

ネットワーク内にある各種リソースを利用し、これまでのインターネットでは実現困難であった新世代ネットワーク時代に出現する下記の代表的な5種類のネットワークアプリケーションを開発

新世代  
センサーネットワーク  
アプリケーション

新世代  
コンテンツ配信  
アプリケーション

新世代  
付加価値提供  
アプリケーション

新世代  
トラスタブルネットワーク  
アプリケーション

超低消費  
電力指向ネットワーク  
アプリケーション

課題イ: サービス合成可能なネットワークプラットフォームの研究開発

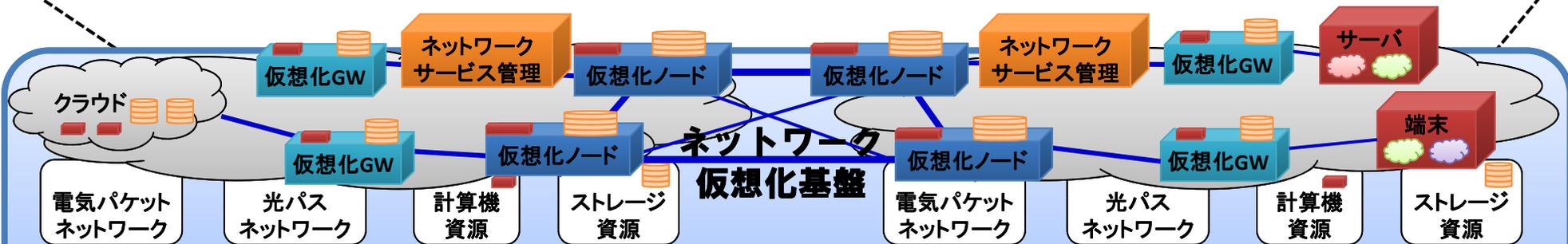
サービスA向け  
仮想ネットワーク

ネットワーク仮想化基盤が提供するサービス部品を組み合わせて利活用することで、様々なアプリケーションを開発・実行できるようにするサービスプラットフォームを開発

サービスプログラミング  
サービスコンポーネント管理・実行  
ネットワークサービス仮想統合管理



ネットワークプラットフォーム



課題ア: 統合管理型ネットワーク仮想化基盤技術の研究開発

サービスごとにカスタマイズされた複数方式のネットワークを同時に提供し、安全性・信頼性・柔軟性等を大幅に高めつつ、高機能化、大容量化、及び超低消費電力化を実現する新しい世代のネットワーク仮想化基盤を開発

研究期間: 契約締結日から平成26年度末まで(課題ア、イ4年間 課題ウ2年間 ただし中間評価の結果2年間の延長あり)

予算: 平成23年度 総額 1,200百万円 (上限)

内訳 課題ア: 1件 650百万円、課題イ: 1件 250百万円、課題ウ: 最大7件 総額300百万円(1件り当たり上限50百万円)